

頭痛の支障度 (MIDAS)

あなたの頭痛について質問します。この結果で頭痛がどれだけ日常生活に支障をきたしているかを、知ることができます。このシートを元に、医師とご相談ください。

記入のしかた

過去3か月の間にあったすべての頭痛について、以下の質問にお答え下さい。

それぞれの質問の右側の欄に答えを記入して下さい。該当する出来事がなければ、0(ゼロ)と記入します。

1 過去3か月の間で、頭痛のために仕事または学校を休んだ日がありましたか	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2 過去3か月の間で、頭痛のために仕事や学校での勉強がいつもの半分以下しかできなかった日がありましたか (質問1で、仕事または学校を休んだ日がある場合は、その日数は入れないでください)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
3 過去3か月の間で、頭痛のために家事が出来なかった日がありましたか	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
4 過去3か月の間で、頭痛のために家事がいつもの半分以下しかできなかった日がありましたか (質問3で、家事が出来なかった日がある場合は、その日数は入れないでください)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
5 過去3か月の間で、頭痛のために家庭での行事や、付き合い・用事や遊びが出来なかった日がありましたか	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
合計	<input type="text"/> <input type="text"/> 日

A 過去3か月の間で、頭痛のあった日は何日ありましたか (頭痛が1日以上続いた場合は、それぞれの日を1日と数えて下さい)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
B 頭痛の程度について、0～10点で採点するとすれば、平均で何点でしたか (この場合、まったく頭痛がなかった場合は0点、これ以上ないくらい痛かった場合を10点とします)	<input type="text"/> <input type="text"/> 点

MIDAS評価のしかた

質問1～5に対して、あなたが記入した日数を合計し、スコア票に照合して支障度を評価します。MIDASのスコアは、重症度に応じて以下の4段階に分類されます。

スコア(合計日数)	評価段階	定義
0～5	I	日常生活に支障全くなし、またはほとんどなし
6～10	II	日常生活に軽度の支障
11～20	III	日常生活に中等度の支障
21以上	IV	日常生活に重度の支障

質問A、Bをも含むすべての回答結果を評価することにより、頭痛による日常生活への支障度のみならず、重症度をも確認できるしくみになっています。